

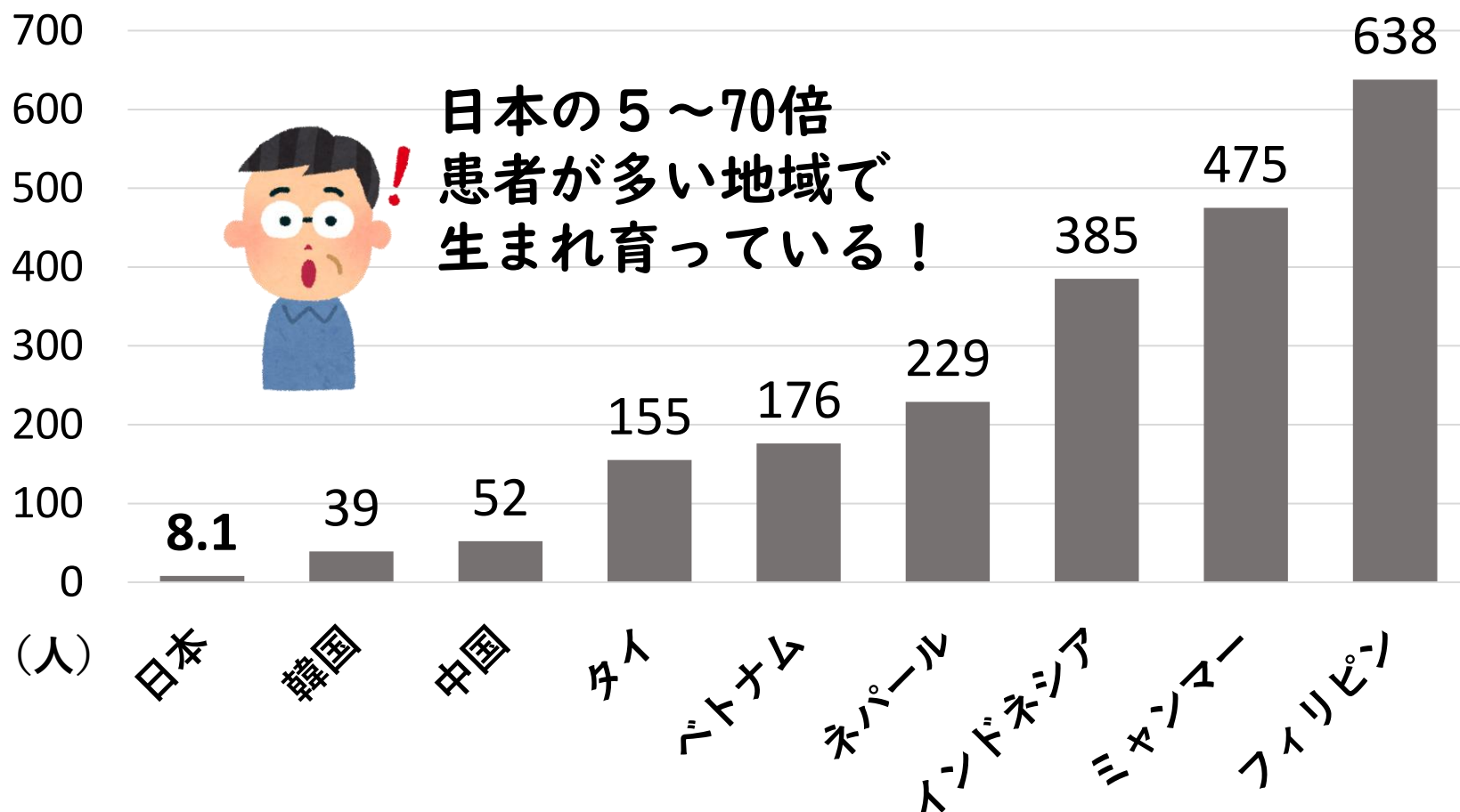
外国人技能実習生を受け入れる企業や監理団体の皆様へ

結核（けっかく）

母国で感染し
入国後に発症する
技能実習生が増えています！

諸外国と日本の結核罹患率

罹患率：人口10万人当たりの結核患者の人数



出典：厚生労働省2023年結核登録者情報調査年報集計結果

職場の皆様にご理解していただきたいこと

早期発見・早期受診が重要です

- 定期健康診断（胸部エックス線検査を含む）を確実に実施しましょう。
- 2週間以上咳や痰、微熱が続くなど、風邪様症状が続く場合は、早めに医療機関受診を促しましょう。

ポイント

健診は精密検査の受診状況・結果を必ず確認しましょう！

特に、外国生まれの方の健康管理は大切です

- 結核を発病する可能性があることを理解して対応しましょう

日本人よりも、結核を発病する可能性が高いことを念頭に置いて、健康管理に気を付けることが大切です。

- 文化や生活習慣の違いがあることを理解し、支援をお願いします。

言語や生活習慣が異なる環境で、ストレスを抱えていると、体調が悪くてもうまく表現できなかったり、医療機関への受診の仕方が分からない人がいるかもしれません。

目配り・気配りををお願いします。

- 体調が悪い場合は、上司に報告するよう事前に伝えておきましょう。

気軽に健康相談ができるよう、体制や環境を整えておくことが大切です。「病気＝退職」の風潮が広まると、体調不良を隠して、病状の悪化を招き、かえって職場内での感染リスクを増大させることになります。

結核についてのご相談は、
最寄りの保健所にお問い合わせください